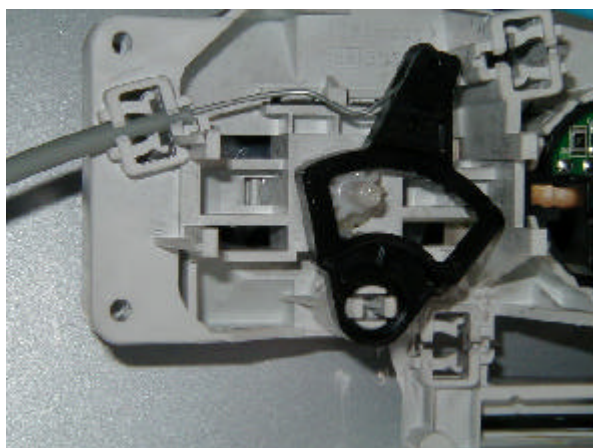
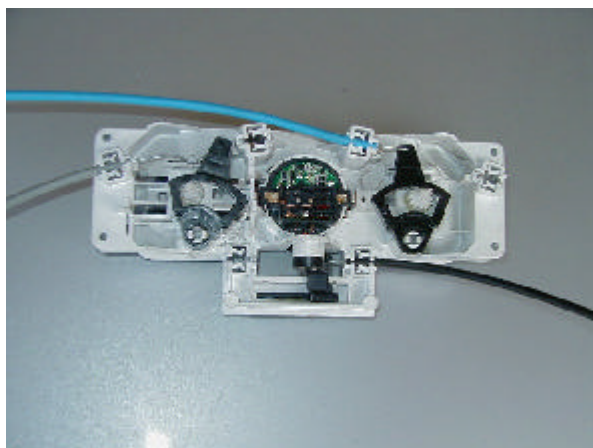


吹き出し口の切り替えが出来ない

スズキ ワゴンR (FM) GF-MC21S (K6A) 平成12年3月登録車

走行距離 7800 km



6ヶ月点検で入庫してきた車両である。最近寒くなって来た為 ヒーターが効くようにして欲しいとの依頼があり、現車を確認してみると確かに吹き出し口の切り替えが効かない。足下からヒーターの風が出てこないために、ヒーターが効かないと言う表現になったのであろう。この車種のエアークンترلは **写真左上** にあるように、つまみを回転させてコントロールするタイプである。

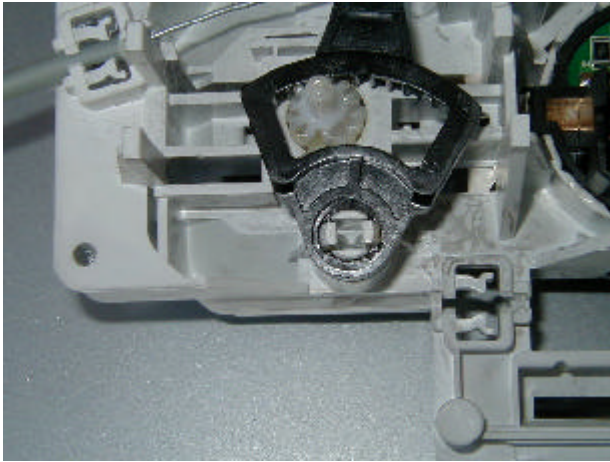
右一杯回転させるとデフロスターとなり、左一杯でセンターベンチレーターに切り替わり全部で5カ所への切り替えとなる。ところが、右端と左端とには動かず、中央部の3箇所しか切り替えが効かない状態である。

つぎに、風量を一杯にして吹き出し口の確認をして見るが全く位置が合っていないようである。まずは、エアークンترلワイヤーの調整を試みるが、ロック位置等に異常があるようだ。ワイヤーを外して手で操作してみると、全ての位置に風が吹き出してくることからどうもエアークンترلに異常があるようだ。とにかくコントローラー Assy を取り外して点検することにした。

取り外したコントローラー Assy が、**写真左中央**です。このタイプの部品の脱着は簡単で、灰皿の上蓋を外して次にインストルメントパネルのセンターガーニッシュを取り外すだけでコントローラー Assy の脱着となる。

写真中央をみて貰うと分かるが、コントロールワイヤー3本を外して取っつけビスを取る

と手元に出せる。取り外してみても啞然とした。写真左下に見えるように、コントロールワイヤーがひん曲がっていた。通常この手のワイヤーは、ピアノ線を使ったかなり丈夫な物であるはずが……？。とにかくワイヤーを脱着して真っ直ぐになるのかどうかプライヤーで戻してみると何とも簡単に真っ直ぐになってしまった。他には異常はないのか点検してみると、ギヤが一カ所欠損している。何ともひどい操作をする物である。この車のユーザーは女性であるが、カ一杯に切り替えのつまみを回したに違



いない。 欠損してるギヤの片割れが相手に残っていたために、グリスをどちらも綺麗に拭き取りドリブンギヤ側に接着剤で固定することにした。 ドリブンギヤ側に接着する意味は、ドライブ側であるとまたすぐ取れてしまう可能性が大きいのと、駆動力に耐え得るだけの接着剤が見当たらない事からである。 プラチックを使用したギヤは、古くからスピードメーターのドリブンギヤが有るが、ギヤが

欠けた話はあまり無いと思います。 この事例に関して、三菱のトップB Jの温度調整用のギヤも同等で、こちらはギヤを乗り越えて一部使用出来ない部分が出来てしまったという物です。 この異常の部分に回転させるとギヤが噛み込み動かなくなるというトラブルです。 新品の部品は在庫して、いつでも修理できるように待機している状態です。

また在庫次第により写真を撮って次回のMLで添付します。

P.S

今回の写真等数が多くなってきたり、トラブルの内容を細かく覚えられないとかの為に、車体整備用のアプリケーションプログラム(パソコンソフト)を利用しています。 キャノンから出ているアジャスターカルテと言うソフトです。 これで、写真を管理したり一枚ずつの写真にコメントを付けたりすればいつでもトラブル原稿が書ける状態に持ってゆくことができます。 今回の原稿用のものを **ワゴンRカルテ.PDF** として添付します。 参考にしてみてください。

From

KUREメカトロクラブ

yashitaka@mantoku.com

万徳佳成